

きゅうしゅう

No.35

目次 CONTENTS

- 1 部隊紹介
航空自衛隊福江島分屯基地
- 2 自治体紹介～長崎県五島市～
- 3 九州防衛局業務紹介
- 4 インフォメーション



▲高浜(白本の渚100選、日本の水浴場88選)



1 部隊紹介

航空自衛隊福江島分屯基地



分屯基地司令



九州防衛局広報誌「きゅうしゅう」読者の皆様。
 こんにちは。航空自衛隊第15警戒隊長兼ねて福江島分屯基地司令の立石です。

福江島分屯基地は、長崎から約100km西に位置する福江島に所在しています。昭和16年に旧陸軍の監視所として開設され、昭和36年に第15警戒群に改編、平成15年に第15警戒隊に改編されました。主として航空機が空において活動するために必要な航空警戒管制の業務を実施しています。

また、平成26年には基地開庁60周年を無事に迎えており、これも自治体、警察、学校、自衛隊父兄会等地域の多大なご協力、ご支援の賜物と考えております。

今後とも地域の皆様から信頼をいただけるように、分屯基地として努力していく所存です。

第15警戒隊長 福江島分屯基地司令
 2等空佐 立石 敦(たていし あつし)



- 西部航空警戒管制団(春日基地)
- 第7警戒隊(高尾山分屯基地)
- 第17警戒隊(見島分屯基地)
- 土佐清水通信隊(土佐清水分屯基地)
- 第43警戒群(脊振山分屯基地)
- 第19警戒隊(海栗島分屯基地)
- 第15警戒隊(福江島分屯基地)
- 第13警戒群(高畑山分屯基地)
- 第9警戒隊(下飯島分屯基地)

警戒管制レーダー
 J/FPS-4

福江島分屯基地の隊員は地元住民の方々と交流を深め、地域に密着した部隊を目指しています。また、厳しい訓練を通じ実力を磨き、災害派遣等を含む各種事態に対応しています。



▲開庁記念行事 地元の方々との餅まき



▲開庁記念行事 祝賀会



▲白良ヶ浜海岸クリーンアップ作戦ボランティア



▲ベロン大会への参加



▲五島長崎国際トライアスロン大会支援及び参加



▲五島市民駅伝大会支援及び参加



▲協同基地警備訓練



▲航空救難訓練



五島市長 野口 市太郎
(のぐち いちたろう)

〒853-8501
長崎県五島市福江町1番1号

2 自治体紹介 ～長崎県五島市～

「しまの豊かさを 創造する海洋都市」



▲五島市キャラクター「つばきねこ」



市章

波はハーモニーを、太陽は人々の活力を、
緑の楕円は豊かに取り巻く自然や人の和
を象徴している。

全体は、五島のイニシャル「G」を表している。



市長あいさつ

五島市は、九州の最西端、長崎県の西方海上約100kmに位置しています。大小152の島々からなる五島列島の南西部にあって、総面積は420.04km²、11の有人島と52の無人島で構成されています。平成16年8月1日に、福江市、南松浦郡富江町・玉之浦町・三井楽町・岐宿町・奈留町の1市5町が新設合併して誕生しました。

五島市は、世界遺産登録を目指す「旧五輪教会堂(久賀島の集落)」「江上天主堂(江上集落)」や、日本遺産に認定された「国境の島 壱岐・対馬・五島～古代からの架け橋～」そして西海国立公園に代表される雄大な自然景観など、歴史・文化・自然に恵まれた島です。それらの恵みを活かしたまちづくりに取り組んでいます。

五島海域は、海洋再生エネルギーのポテンシャルが高く、その可能性を活用し、浮体式洋上風力発電の実用化や潮力発電実証事業の展開等に努めています。また、国内有数のマグロ養殖基地であり、椀島での天然種苗と人口種苗を用いた養殖の開始など、新たな展開を予定しています。

さらに、五島市は日本有数の椿の自生地でもあります。日本一の椿の島づくりを目指して、椿実の増産や、椿を活用した特産品の開発・普及に努めています。

また、平成32年には国際ツバキ会議の開催も控えています。

■五島市と自衛隊との関わり

本市に所在する航空自衛隊福江島分屯基地は、今年、創設62周年を迎えその間、隊員の皆様には、地域活動及び地域の活性化に大きく貢献いただいています。

今年4月に発生した熊本地震では、多くの自衛隊員の活躍がテレビ等で紹介されましたが、離島の厳しい環境において分屯基地及び自衛隊員の存在は、市民のみならず島民の安全・安心を守る観点からも大変心強く頼もしい存在です。

▼大瀬崎灯台

九州本土最西端にある、国内最大級の光力を誇る灯台。映画のロケ地としても有名。



▲カンコロ餅

五島の名産品。甘藷のうまみが引き立ちます。



▲クーミンの歌碑

島を離れて暮らす友への思いを唱ったクーミンの「瞳を閉じて」の直筆の歌碑。奈留高校の愛唱歌。

▼トンボロ

奈留瀬戸の激しい潮の流れで小石が堆積してきた砂浜。地学的に大変貴重。



▼チャンココ(県指定無形民俗文化財)

先祖供養として古くから伝わる念仏踊りて、お盆などに踊られる。

▼江上天主堂(国指定重要文化財)

教会建築の名工 鉄川与助の代表作。日本の木造教会のうち、完成度の高い作品として歴史的価値が高い。



▼魚津ヶ崎公園

春は菜の花、梅雨の時期はあじさい、夏はひまわり、秋はコスモスが咲き誇ります。



▼みみらくのしま(国名勝)

約6キロにわたる溶岩海岸と、草原が作り出す風光明媚な景観が美しい。歴史上、学術上の価値も高い。



▲五島つばきマラソン

国名勝みみらくのしまを駆け抜ける、県内唯一のフルマラソン大会。



3 九州防衛局業務紹介

長崎防衛支局 装備課

①業務内容:

防衛装備品の調達に係る監督検査を行っています。
ここでは護衛艦の建造をご紹介しますが、この他にも魚雷、弾火薬類、燃料、被服等、様々な防衛装備品を対象としています。

建造中の護衛艦～平成25年度護衛艦(25DD)～
於:三菱重工業(株)長崎造船所



【COGLAG方式】
電気推進とガスタービン推進を組み合わせたハイブリット推進

②護衛艦建造の流れ:

起工式から始まり、命名・進水式、海上公試等を経て、就役という流れになります。

27年5月

建造期間中の安全を祈願し、船を構成するブロックの製造が始まります。



1.起工式

只今、鋭意作業中!



エンジンの据付けや、プロペラ軸の搭載など、精度が求められる作業です。



分割して作った船体ブロックを順番に船台に搭載し、艦の型が出来ていきます。船としての強度や水密などを確認する試験等を実施します。

全建造工程終了後、造船所から防衛省に引き渡され、自衛艦旗を掲げて母港へ向け出港します。

30年3月末



5.引渡し



6.就 役

艦としての性能と、武器等の性能を、海に出て試験します。



29年8月
~30年1月頃

4.海上公試

2.命名・進水式



3.ぎ 装

船体の進水後、専門メーカーで製造された各種武器等の搭載作業が進められます。



平成28年10月19日
(予定)

ブロック搭載終了後、艦として命名され、進水式が執り行われます。長崎造船所での進水は、船体が船台を滑り降りてゆく勇壮なシーンとなります。進水後の浮かび方で、組み立ての精度が明らかになる、まさに、緊張の一瞬です。

4 インフォメーション

『陸上自衛隊オスプレイ等による佐賀空港利用計画に関する住民説明会』開催

平成28年7月29日(金)佐賀市立スポーツパーク川副体育センター、また、平成28年9月2日(金)柳川市市民会館において、住民の方々へ説明会を開催しました。九州防衛局市川企画部長より、施設の配置やオスプレイの必要性等の説明を行い、その後質疑応答があり説明会は終了しました。

引き続き、佐賀市川副地区の住民の方々へ順次説明会を行っているところです。



▲市川企画部長による全体説明

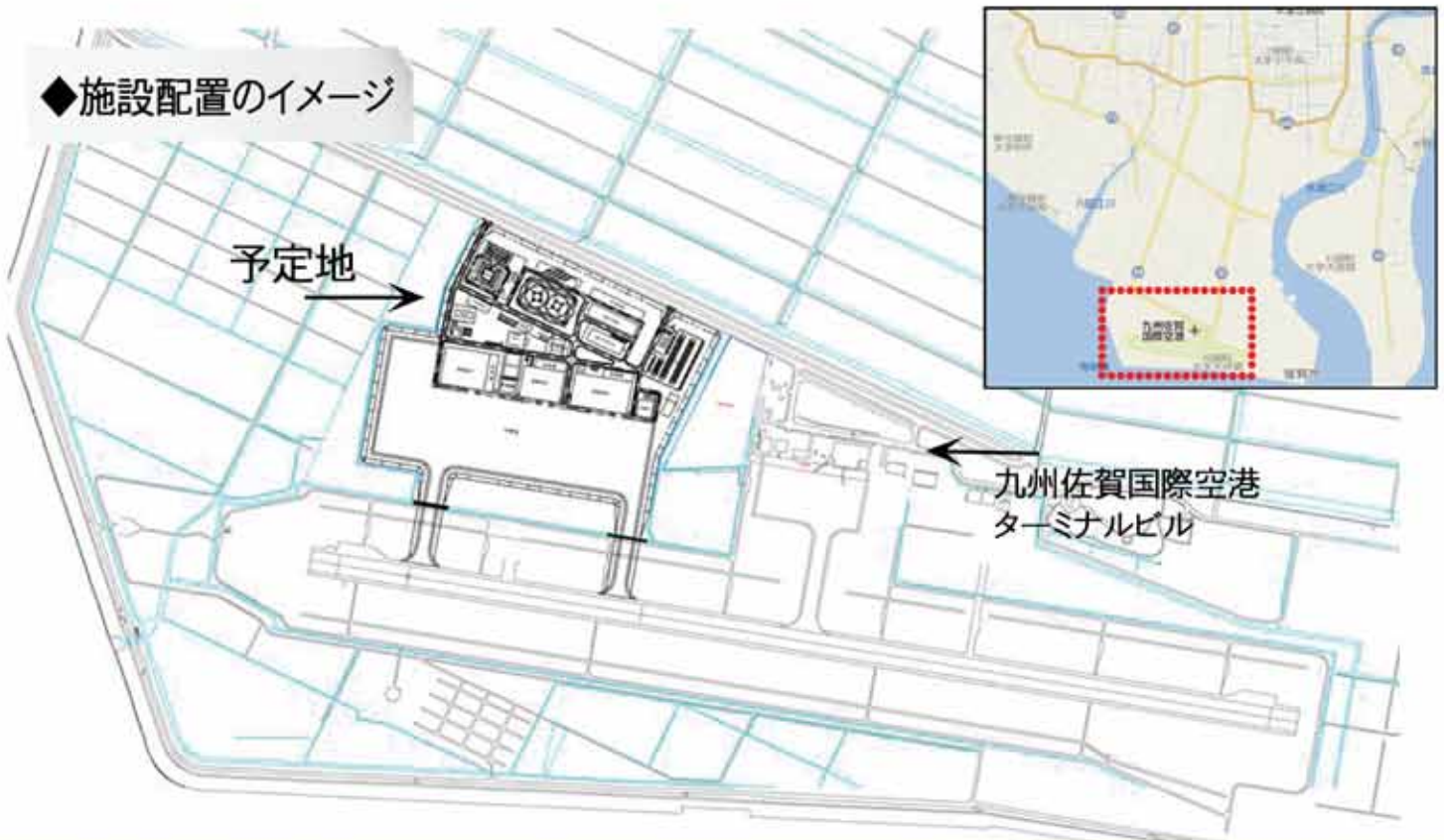


▲説明会場風景(川副体育センター)



▲説明会場風景(柳川市市民会館)

◆施設配置のイメージ



九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

夜間及び休日の連絡先

電話:(092)483-8832 FAX:(092)472-1959

- ・平日は17時15分から翌朝8時30分まで、休日は終日。
 - ・上記以外の時間帯は各課直営直通電話へご連絡下さい。
- <http://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>